

項目名

(1) 地域医療構想の推進

■ 現状（概要）

- 「地域医療構想」は、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年の医療需要を推計し、医療機能毎の病床の必要量、施策の方向性(病床の機能の分化及び連携等)を示したもの。
- 構想実現に向けて、医療機関の自主的な取組や関係者相互の協議を促進するために、「地域医療構想調整会議」を設置し、必要な調整を行っている。
- 鹿児島県地域医療構想の概要（H28.11月策定）

1 2025年の病床の必要量、在宅医療等の需要（鹿児島保健医療圏）

		2015年(H27)現在	2025年(R7)必要量	差
病	高度急性期	1,392床	982床	410床 (超過)
	急性期	5,122	2,778	2,344 (超過)
	回復期	1,463	2,880	▲1,417 (不足)
	慢性期	3,121	2,244	877 (超過)
床	休棟等	346	-	346
	計	11,444	8,884	2,560 (超過)
在宅医療等		8,006人/日	11,097人/日	▲3,091人/日(不足)

2 地域医療構想推進のための施策の方向性

病床の機能の分化及び連携の推進、在宅医療・介護連携の推進 など

■ 取組状況（H29.3～R3.3）

- 公立・公的医療機関の2025年に向けた対応方針の合意 … 9か所合意
- 公立・公的医療機関の2025年に向けた対応方針の再検証 … 4か所検証
- 病院の開設許可申請に係る調整会議の意見とりまとめ … 3か所実施
- 地域医療介護総合確保基金事業補助金に係る意見とりまとめ … 7か所実施
- 病床機能再編支援補助金に係る意見とりまとめ … 5件実施

■ 課題

- 回復期病床の増加と急性期・慢性期病床の減少が進んでいるが、2025年の回復期の必要病床数を確保するまでには至っていない。

■ 今後の対応

- 各医療機関における病床の機能の分化及び連携については、自主的に進められることが前提となっており、地域医療構想調整会議や専門部会を適宜開催し、その進捗状況を共有するとともに、必要な調整を行う。

■ 依頼事項等

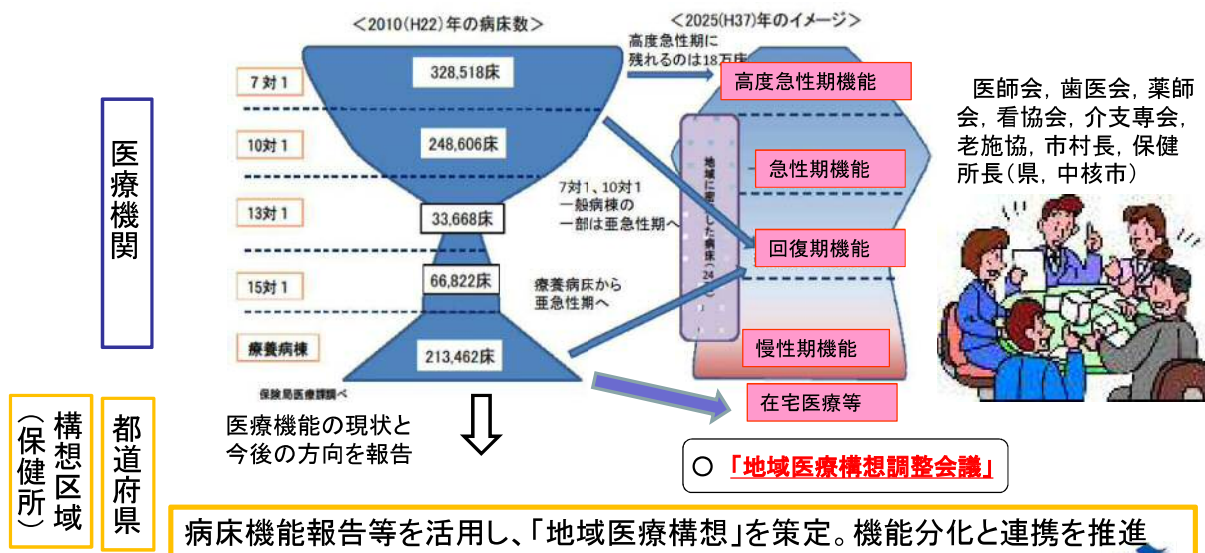
- 医師会、市村におかれては、地域医療構想の推進に引き続き御協力をお願いします。

地域医療構想とは(医療介護総合確保推進法)

○ 都道府県が「地域医療構想」を策定

「地域医療構想」は、**二次医療圏単位**での策定が原則(**地域医療計画の一部**)

○ 「地域医療構想」は、2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、**医療機能ごとに2025年の医療需要**を推計し、**病床の必要量**、施策の方向性を示したもの。



必要病床数と在宅医療等需要

(鹿児島県地域医療構想:平成28年11月)

構想区域	医療機能	2015年現在	2025年の病床の必要量(床)	県全体	医療機能	2015年現在	2025年の病床の必要量(床)
		既存病床数(床)	高度急性期・急性期 →医療機関所在地 回復期・慢性期 →患者住所地			既存病床数(床)	高度急性期・急性期 →医療機関所在地 回復期・慢性期 →患者住所地
鹿児島保健医療圏	高度急性期	1,392	982	県計	高度急性期	1,478	1,540
	急性期	5,122	2,778		急性期	12,174	5,534
	回復期	1,463	2,880		回復期	3,769	7,048
	慢性期	3,121	2,244 (1,898)		慢性期	8,457	5,822 (4,568)
	休棟等	346	—		休棟等	882	—
	計	11,444	8,884		計	26,760	19,944
	在宅医療等需要	8,006(人/日)	11,097(人/日)		在宅医療等需要	21,484(人/日)	26,317(人/日)

※既存病床数は2015(H27)年病床機能報告による数値。(厚労省推計ツールにより作成)

※()...慢性期はパターンCで算定(熊毛除く)。2030(H42)年の病床の必要量。

※在宅医療等需要は2013(H25)年現在と2025(R7)年(人/日)。

● 鹿児島保健医療圏

- 在宅医療等需要の将来推計では、県内9圏域のなかで最も大幅な増加が見込まれる(+3,091人/日)
- 訪問看護ステーションやサービス付き高齢者向け住宅は他の圏域と比較して多いが多が鹿児島市にあり地域偏在が見られる。
- 各医療機関の役割分担及び連携のあり方を明確化し、不足する回復機能の充足を図る必要がある。

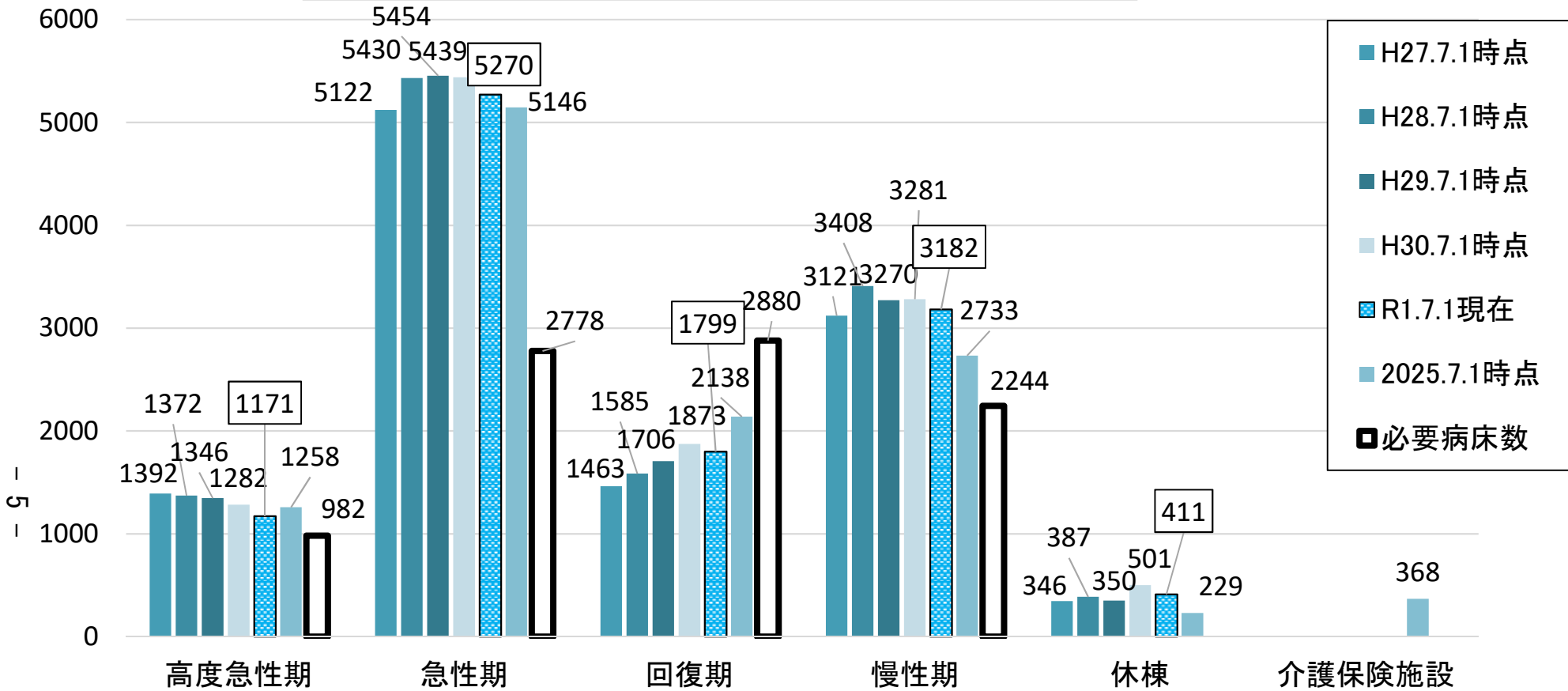
令和2年度「鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議」開催状況

開催日時・場所	会議名	協議内容等
令和2年9月8日(火) 18:30~20:30 かごしま県民交流センター	第6回高度急性期及び急性期専門部会	(1) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について (4 医療機関の説明及び質疑) (2) 令和元年度病床機能報告の確認結果について
令和2年10月1日(木) 18:30~20:30 かごしま県民交流センター	第2回部会長等会議	(1) 地域医療介護総合確保基金事業補助金の申請予定について (2) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について (3) 令和元年度病床機能報告の確認結果等について
令和2年10月12日(月) 18:30~20:00 鹿児島市医師会館	第12回調整会議 (令和2年度第1回)	(1) 地域医療介護総合確保基金事業補助金の申請について (2) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について (3) 令和元年度病床機能報告の確認結果等について
令和2年11月19日(木) 18:30~20:00 かごしま県民交流センター	第7回高度急性期及び急性期専門部会	(1) 令和元年度病床機能報告の確認結果等について (2) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について (3) 公立・公的医療機関等の再編統合の協議開始に係る意向調査について
令和2年11月30日(月) (書面開催)	第3回回復期専門部会	(1) 令和元年度病床機能報告の確認結果等について (2) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について
令和2年12月3日(木) (書面開催)	第3回慢性期及び在宅医療専門部会	(1) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について
令和2年12月10日(木) 18:30~20:00 かごしま県民交流センター	第3回部会長等会議	(1) 令和元年度病床機能報告の確認結果について (2) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について (3) 医療機関の再編統合に係る民間医療機関への意向調査について (4) 今後再開予定の非稼働病棟を有する医療機関について
令和2年12月28日(月) (書面開催)	第8回高度急性期及び急性期専門部会	(1) 病床機能再編支援補助金の活用希望に係る意見照会について
令和2年12月28日(月) (書面開催)	第4回復期専門部会	(1) 病床機能再編支援補助金の活用希望に係る意見照会について
令和3年1月7日(木) 18:30~20:30 かごしま県民交流センター	第4回部会長等会議	(1) 病床機能再編支援補助金の活用希望について (2) 医療機関の再編統合に係る民間医療機関への意向調査について (3) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について

開催日時・場所	会議名	協議内容等
令和3年1月14日(木) 18:30~20:00 鹿児島市医師会館	第5回部会長等 会議	(1) 病床機能再編支援補助金の活用希望について
令和3年2月9日(火) 18:30~20:30 鹿児島市医師会館	第13回調整会議 (令和2年度第2回)	(1) 令和元年度病床機能報告の確認結果について (2) 医療機関の再編統合に係る民間医療機関への意向調査について (3) 病床機能再編支援補助金の活用希望について (4) 令和元年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について (5) 第7次医療計画(中間見直し)及び第8期介護保険事業(支援)計画の整合性確保について
令和3年3月5日(金) 18:30~20:00 鹿児島市医師会館	第14回調整会議 (令和2年度第3回)	(1) 病床機能再編支援補助金の活用希望について
令和3年3月19日(金) (書面開催)	第5回回復期専門 部会	(1) 病床の医療機能を変更予定の医療機関について

病床機能報告制度報告状況（鹿児島保健医療圏）

R2.10.12 第12回調整会議資料



病床数合計	2015(H27)年7月1日時点	確定値	11,444床(介護保険施設等を除く)
	2016(H28)年7月1日時点	確定値	12,182床(介護保険施設等を除く)
	2017(H29)年7月1日時点	確定値	12,126床(介護保険施設等を除く)
	2018(H30)年7月1日時点	確定値	12,376床(介護保険施設等を除く)
	2019(R1)年7月1日時点	独自集計値※	11,833床(介護保険施設等を除く)
	2025年7月1日時点	独自集計値※	11,504床(介護保険施設等を除く)
	2025年7月1日時点	必要病床数	8,884床(介護保険施設等を除く)

※ 2019年7月1日時点, 2025年7月1日時点は, R2.3.23時点で報告済の193医療機関を伊集院保健所が独自集計したもの(速報前の未確定データ)
 ※ 定量的基準とは未照合